

道CLASSプロジェクト

地域とともに深く探究

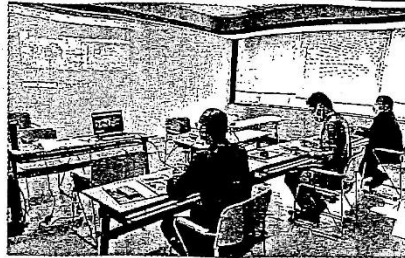
上川局 地域コーディネーター研修

【旭川発】上川教育局は8月27日、上富良野町役場から道教委とオンラインで接続し、令和3年度北海道CLASSプロジェクト第1回地域コーディネーター研修(上川)を実施した。上富良野高校の地域コーディネーター・中村有吾さんが参加。生徒の探究活動がより深まるよう、今後の活動の提案に意欲をみせた。

道教委の本年度新規事業・道CLASSプロジェクト(地学協働活動推進実証事業)は、地域と学校との連携・協働の整備と「まち・ひと・しごと」と「学び」のつながりを図る。

道内4圏域から推進校などを指定。道北では上富良野高を推進校、豊富高を連携校、旭川農業高をサポーター校に指定した。

研修は、地域コーディネーターを対象に1ヵ月に1回程度予定。コーディネーターが抱える課題の解決や資質向上を図るとともに、地学協働活動の推進に関する情報を共有する。



上富良野高のコーディネーター・中村さんが参加

パーク推進室長を務めており、日本ジオパーク認定に向けた活動のほか、ジオパークサポーター養成や、小・中学校、高校の授業協力、学術研究などを行っている。

上富良野高とは、協議会に着任して以来、地質・地形など中村さんの専門性を

生かした授業やフィールドワークでかかわってきた。

第1回目の研修では、道教委社会教育課の尾山清龍、地学協働推進係長がCLASSプロジェクトについて説明。また、道教委高校教育課の岩館良伸主任指導主事が高校のカリキュラム(探究学習)について説明

した。

このあと、社会教育課の佐々木直人主査の進行で、コーディネーターの役割や、取組および課題について交流した。

中村さんは、今後、地域コーディネーターとしてかわっていく中で「生徒たちの探究活動がより深まる

よう、地域の人や大学など、様々な人や団体と高校のつながりを少しずつくわえていきたい。コロナ禍で思うように活動できていないが、高校生がどんどん地域に出て、地域の人が高

校に来るような活動を提案していきたい」と展望を語った。